

2020年9月

県内企業の景況意識調査

(第174回)

共同調査

大銀経済経営研究所

大分信用金庫

大分県産業創造機構

* 2020年 7～9月期〈Ⅲ期〉の実績見込み

* 2020年 10～12月期〈Ⅳ期〉の見通し

緊急事態宣言の解除により改善するも、 依然として厳しい状況が続く

今期（2020年7～9月期〈Ⅲ期〉）の業況判断BSIは、前期（2020年4～6月期〈Ⅱ期〉）比26.7ポイント上昇の▲39.8となった。業種別のBSIは、『建設業』『製造業』『卸・小売業』『金融・不動産業』『サービス業』の5業種で改善した一方、『運輸業』では悪化した。

緊急事態宣言下にあって大きく落ち込んだ前期と比べると幅広い業種で改善がみられたが、新型コロナウイルス感染症の再拡大に加え、7月上旬に全国を襲った豪雨災害の影響も相まって、依然として厳しい状況が続いている。

来期（2020年10～12月期〈Ⅳ期〉）の業況判断BSIは、今期比2.4ポイント低下の▲42.2とわずかに悪化する見通しである。業種別のBSIは、『運輸業』『サービス業』の2業種で改善し、『建設業』『製造業』『卸・小売業』『金融・不動産業』の4業種で悪化する見通しである。

* 2020年 7～9月期〈Ⅲ期〉の実績見込み

製 造 業……………2期ぶりに改善

卸・小売業……………卸売業は3期ぶり、小売業は2期ぶりに改善

建 設 業……………2期ぶりに改善

サービス業……………3期ぶりに改善

緊急事態宣言の解除により改善するも、依然として厳しい状況が続く

◎業況判断

【今期】(2020年7～9月期〈Ⅲ期〉)

業況判断BSI：▲39.8（前期比+26.7ポイント）

＜内訳＞

- ・よくなった 13.1%（前期比+10.2ポイント）
- ・悪くなった 52.9%（前期比▲16.5ポイント）
- ・変わらない 34.0%（前期比+6.2ポイント）

＜業種別＞

- ・前期比改善：5業種（『建設業』『製造業』『卸・小売業』『金融・不動産業』『サービス業』）
- ・前期比悪化：1業種（『運輸業』）

業況判断BSIは前期比26.7ポイント上昇し、緊急事態宣言下にあって大きく落ち込んだ前期と比べると、幅広い業種で改善がみられた。

しかしながら、新型コロナウイルス感染症の再拡大に加え、7月上旬に県内を襲った豪雨災害の影響も相まって、依然として厳しい状況が続いている。

【来期】(2020年10～12月期〈Ⅳ期〉)

業況判断BSI：▲42.2（今期比▲2.4ポイント）

＜内訳＞

- ・よくなる 6.8%（今期比▲6.3ポイント）
- ・悪くなる 49.0%（今期比▲3.9ポイント）
- ・変わらない 44.2%（今期比+10.2ポイント）

＜業種別＞

- ・今期比改善：2業種（『運輸業』『サービス業』）
- ・今期比悪化：4業種（『建設業』『製造業』『卸・小売業』『金融・不動産業』）

◎売上高と収益

【今期】

売上高BSI：▲34.6（前期比+34.7ポイント）

6業種全て改善

収益BSI：▲33.2（前期比+35.3ポイント）

6業種全て改善

【来期】

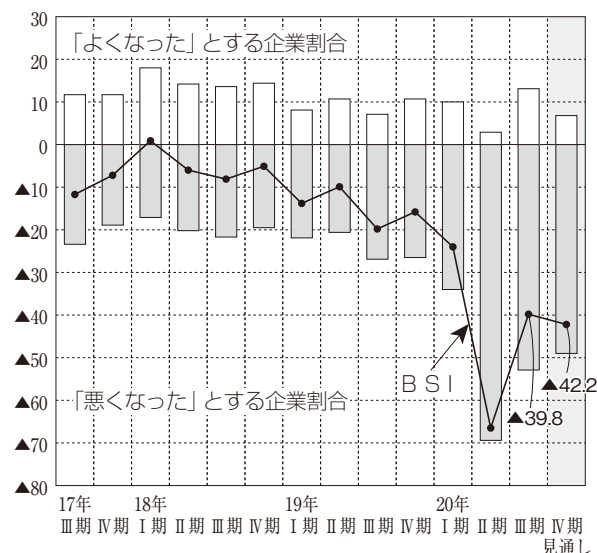
売上高BSI：▲40.0（今期比▲5.4ポイント）

2業種で悪化見通し

収益BSI：▲41.4（今期比▲8.2ポイント）

3業種で悪化見通し

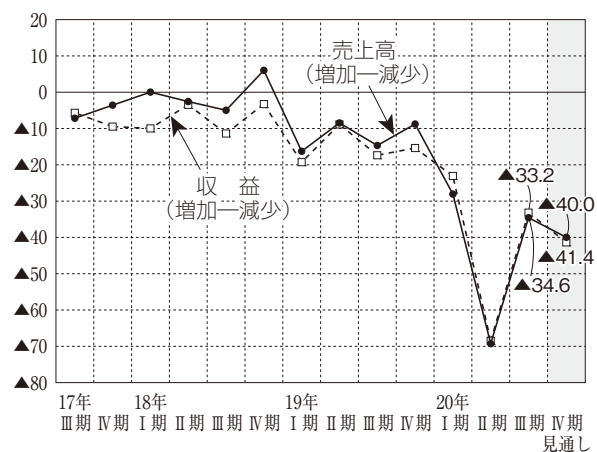
業況判断（BSI）



業況判断指数内訳（BSI）

	2020年 Ⅰ期	2020年 Ⅱ期	2020年 Ⅲ期	2020年 Ⅳ期見通し
建設業	7.7	▲42.8	▲31.9	▲50.0
製造業	▲21.5	▲67.2	▲34.3	▲38.3
卸・小売業	▲41.2	▲67.8	▲46.0	▲54.0
金融・不動産業	▲12.5	▲100.0	▲42.8	▲42.9
運輸業	▲25.0	▲46.6	▲64.3	▲35.7
サービス業	▲30.3	▲83.3	▲37.5	▲32.5
全産業	▲24.0	▲66.5	▲39.8	▲42.2

売上高と収益（BSI）



◎所定外労働時間と雇用者数の現状

【今期】

所定外労働時間 B S I : ▲26.1 (前期比 +11.4%)
5 業種で上昇

雇用者数の現状 B S I : ▲10.5 (前期比 ▲ 1.7%)
3 業種で低下

【来期】

所定外労働時間 B S I : ▲17.7 (今期比 + 8.4%)

◎経営上の問題点

1 位 : 「売上不振」(62.1%)

2 位 : 「人材不足」(10.1%)

3 位 : 「競争激化」(6.1%)

4 位 : 「人手不足」(5.6%)

5 位 : 「単価低下」(3.5%)

業種別にみると、「売上不振」と回答した割合は『金融・不動産業』で100.0%、『製造業』で72.9%と特に高い。「人材不足」は『運輸業』で28.6%と最も高くなっている。

「売上不振」の割合は前期比8.4ポイント上昇し、2019年Ⅱ期から6期連続で上昇が続いている。

◎設備投資実施割合

【今期】

実施企業の割合 : 28.6% (前期比 ▲1.1%)
4 業種で低下

<投資目的>

1 位 : 「補修・更新」(67.8%)

2 位 : 「生産能力の拡大・売上増加」(11.9%)

3 位 : 「合理化・省力化」(10.2%)

【来期】

実施予定企業の割合 : 32.5% (今期比 +3.9%)
5 業種で上昇見通し

<投資目的>

1 位 : 「補修・更新」(61.2%)

2 位 : 「合理化・省力化」(17.9%)

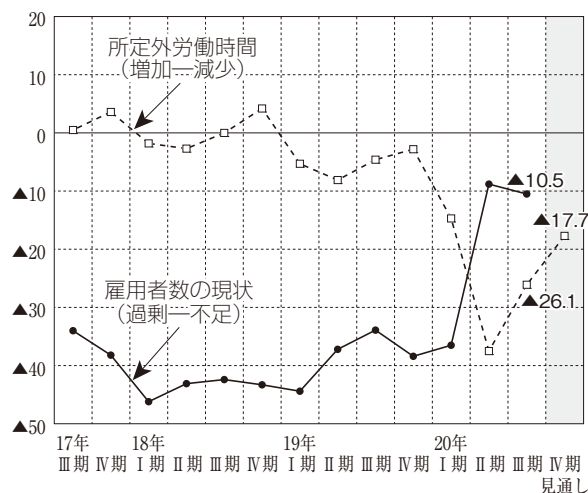
3 位 : 「生産能力の拡大・売上増加」(11.9%)

◎「新型コロナウイルス感染症の収束後、通常の経営に回復するまでに要する期間の見込み」について

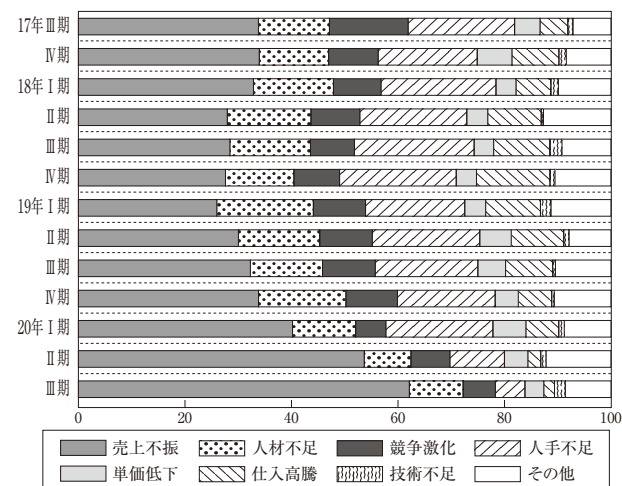
今回の調査で「新型コロナウイルス感染症の収束後、通常の経営に回復するまでに要する期間の見込み」について尋ねたところ、「1年以上」が33.5%、「わからない」が33.0%、「6ヵ月～1年以内」が16.3%、「3ヵ月～6ヵ月以内」が8.4%、「1ヵ月～3ヵ月以内」が7.9%、「1週間～1ヵ月以内」と「1週間以内」がそれぞれ0.5%となった。

「1ヵ月～3ヵ月以内」との回答が最も多かった「運輸業」を除き、多くの業種で「1年以上」の回答が最も多かったことから、新型コロナウイルス感染症の収束後も回復には長い期間を要するとみられる。

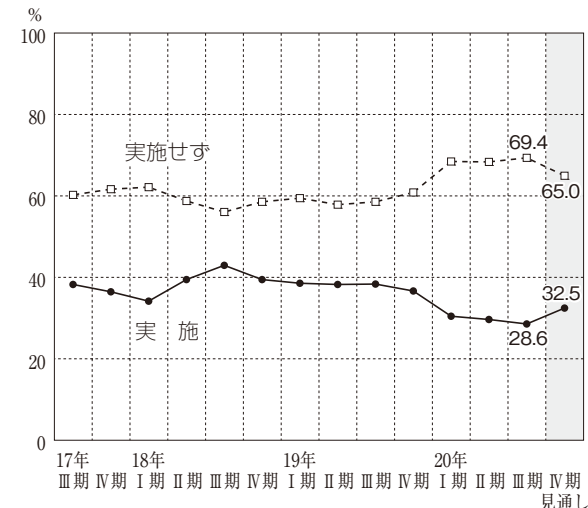
所定外労働時間と雇用者数の現状 (B S I)



経営上の問題点 (%)



設備投資実施割合



2 期ぶりに改善

◎業況判断

【今期】(2020年7～9月期〈Ⅲ期〉)

業況判断BSI：▲34.3 (前期比+32.9[㊦])

＜内訳＞

- ・よくなった 17.8% (前期比+16.3[㊦])
- ・悪くなった 52.1% (前期比▲16.6[㊦])
- ・変わらない 30.1% (前期比+0.2[㊦])

＜業種別＞

- ・前期比改善：6業種（「鉄・非鉄・金属」「機械」「食料品」「木材・家具」「印刷・出版」「その他」）
- ・前期比悪化：1業種（「化学・石油」）
- ・前期比不変：1業種（「窯業・土石」）

緊急事態宣言の解除に伴う受注回復や工場の再稼働などを背景に、業況判断BSIは前期比で改善した。一方、7月の豪雨災害により、工場の稼働を一時的に停止するなど影響を受けた事業所もあった。

【来期】(2020年10～12月期〈Ⅳ期〉)

業況判断BSI：▲38.3 (今期比▲4.0[㊦])

＜内訳＞

- ・よくなる 9.6% (今期比▲8.2[㊦])
- ・悪くなる 47.9% (今期比▲4.2[㊦])
- ・変わらない 42.5% (今期比+12.4[㊦])

＜業種別＞

- ・今期比改善：2業種（「化学・石油」「食料品」）
- ・今期比悪化：4業種（「鉄・非鉄・金属」「機械」「木材・家具」「印刷・出版」）
- ・今期比不変：2業種（「窯業・土石」「その他」）

新型コロナウイルス感染症の先行き不透明な状況により、来期の業況判断BSIは今期よりも悪化する見通しとなっている。

◎売上高と収益

【今期】

売上高BSI：▲37.0 (前期比+24.2[㊦])

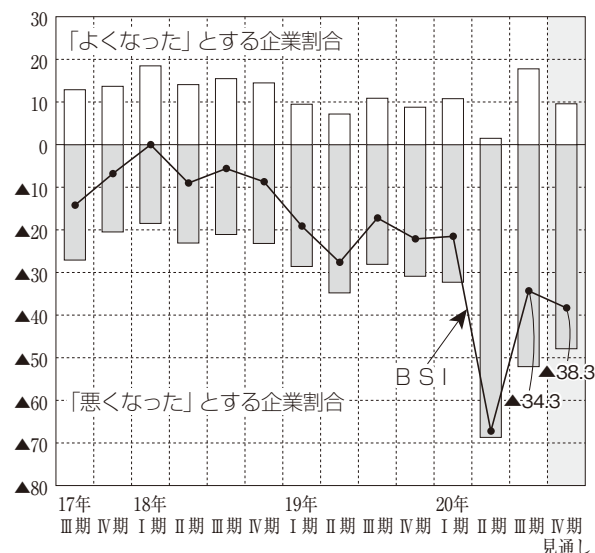
収益BSI：▲37.0 (前期比+31.6[㊦])

【来期】

売上高BSI：▲32.9 (今期比+4.1[㊦])

収益BSI：▲37.0 (今期比±0[㊦])

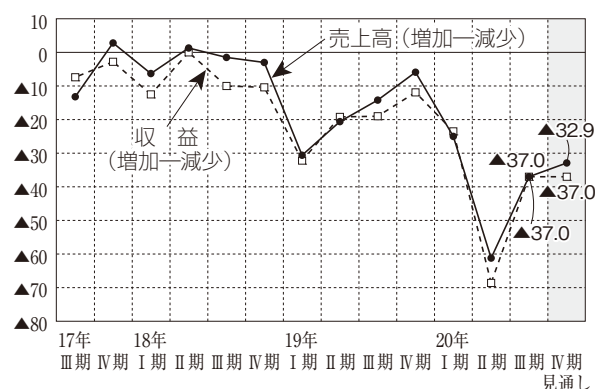
業況判断 (BSI)



業況判断指数内訳 (BSI)

	2020年 Ⅰ期	2020年 Ⅱ期	2020年 Ⅲ期	2020年 Ⅳ期見通し
化学・石油	▲16.7	▲20.0	▲50.0	▲33.3
鉄・非鉄・金属	42.9	▲66.7	10.0	▲30.0
機 械	▲26.3	▲68.4	▲45.0	▲50.0
食 料 品	0.0	▲63.6	▲25.0	0.0
木材・家具	▲88.9	▲100.0	▲71.4	▲85.7
印刷・出版	▲33.3	▲100.0	▲42.8	▲57.1
窯業・土石	0.0	0.0	0.0	0.0
そ の 他	▲14.3	▲75.0	▲37.5	▲37.5
製 造 業	▲21.5	▲67.2	▲34.3	▲38.3

売上高と収益 (BSI)



卸・小売業

(50社)

卸売業は3期ぶり、小売業は2期ぶりに改善

◎業況判断

【今期】(2020年7～9月期〈Ⅲ期〉)

『卸売業』

業況判断BSI : ▲63.6 (前期比+ 8.4ポイント)

<内訳>

- ・よくなった 9.1% (前期比+ 9.1ポイント)
- ・悪くなった 72.7% (前期比+ 0.7ポイント)
- ・変わらない 18.2% (前期比▲ 9.8ポイント)

『小売業』

業況判断BSI : ▲32.2 (前期比+32.3ポイント)

<内訳>

- ・よくなった 21.4% (前期比+11.7ポイント)
- ・悪くなった 53.6% (前期比▲20.6ポイント)
- ・変わらない 25.0% (前期比+ 8.9ポイント)

卸売業、小売業ともに厳しい状況が続いているものの、外出自粛の段階的な緩和や特別定額給付金の受給等によって消費者の購買意欲が高まり、小売業では業況判断BSIが前期比で大幅に改善した。

【来期】(2020年10～12月期〈Ⅳ期〉)

『卸売業』

業況判断BSI : ▲59.1 (今期比+ 4.5ポイント)

『小売業』

業況判断BSI : ▲50.0 (今期比▲17.8ポイント)

足もとでは業況が改善しているが、新型コロナウイルス感染症の収束が見通せないことから来期以降については不安視する声が多くみられた。

◎卸売業：売上高と収益

【今期】

売上高BSI : ▲50.0 (前期比+26.0ポイント)

収益BSI : ▲45.4 (前期比+30.6ポイント)

【来期】

売上高BSI : ▲54.6 (今期比▲ 4.6ポイント)

収益BSI : ▲54.6 (今期比▲ 9.2ポイント)

◎小売業：売上高と収益

【今期】

売上高BSI : ▲28.6 (前期比+41.4ポイント)

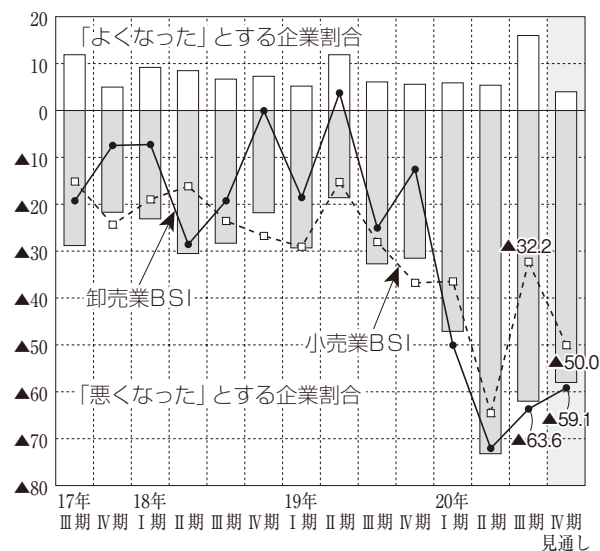
収益BSI : ▲28.6 (前期比+34.7ポイント)

【来期】

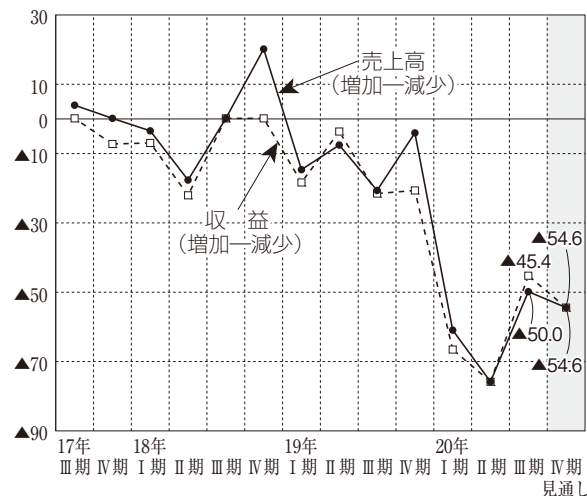
売上高BSI : ▲46.4 (今期比▲17.8ポイント)

収益BSI : ▲46.5 (今期比▲17.9ポイント)

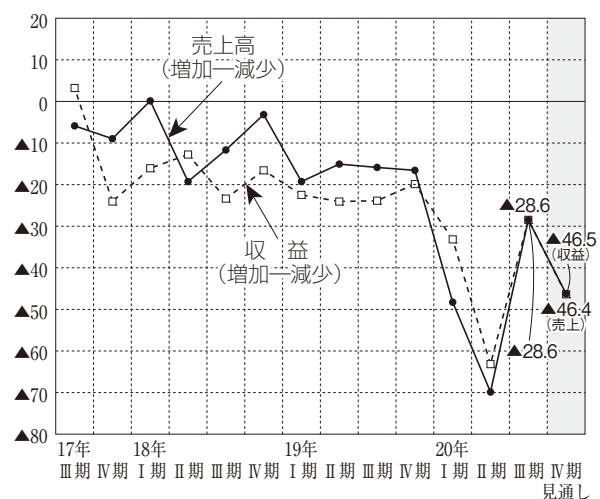
業況判断 (BSI)



【卸売業】 売上高と収益 (BSI)



【小売業】 売上高と収益 (BSI)



2期ぶりに改善

◎業況判断

【今期】(2020年7～9月期〈Ⅲ期〉)

業況判断BSI：▲31.9（前期比+10.9ポイント）

＜内訳＞

- ・よくなった 4.5%（前期比+0.9ポイント）
- ・悪くなった 36.4%（前期比▲10.0ポイント）
- ・変わらない 59.1%（前期比+9.1ポイント）

今期の業況判断BSIは、工事の中止・中断などによる影響がみられた前期からは改善している。また、公共工事の発注は底堅く推移しており、継続工事が残っているとのプラス面の声も聞かれた。

【来期】(2020年10～12月期〈Ⅳ期〉)

業況判断BSI：▲50.0（今期比▲18.1ポイント）

＜内訳＞

- ・よくなる 0.0%（今期比▲4.5ポイント）
- ・悪くなる 50.0%（今期比+13.6ポイント）
- ・変わらない 50.0%（今期比▲9.1ポイント）

豪雨災害の復旧に向けた予算配分による、公共工事の発注増加を期待する声があるものの、新型コロナウイルス感染症の収束が見通せないことから、先行きはやや悲観的な見方が強くなっている。

◎売上高と収益

【今期】

売上高BSI：▲13.6（前期比+38.3ポイント）

収益BSI：±0.0（前期比+44.4ポイント）

【来期】

売上高BSI：▲63.6（今期比▲50.0ポイント）

収益BSI：▲63.6（今期比▲63.6ポイント）

◎所定外労働時間と雇用者数の現状

【今期】

所定外労働時間BSI：▲14.2（前期比+19.1ポイント）

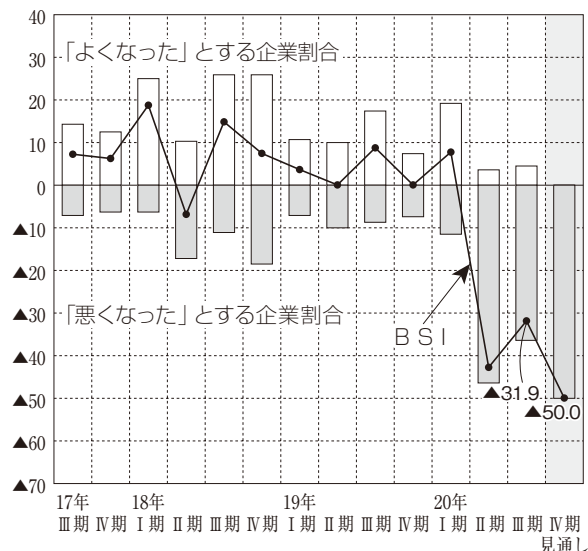
雇用者数の現状BSI：▲47.6（前期比+0.5ポイント）

雇用者数は引き続き不足の状態が続いている。また所定外労働時間BSIは前期から大きく上昇した。

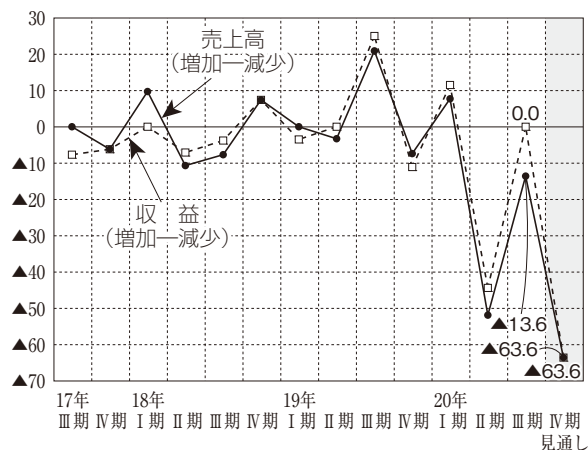
【来期】

所定外労働時間BSI：▲19.0（今期比▲4.8ポイント）

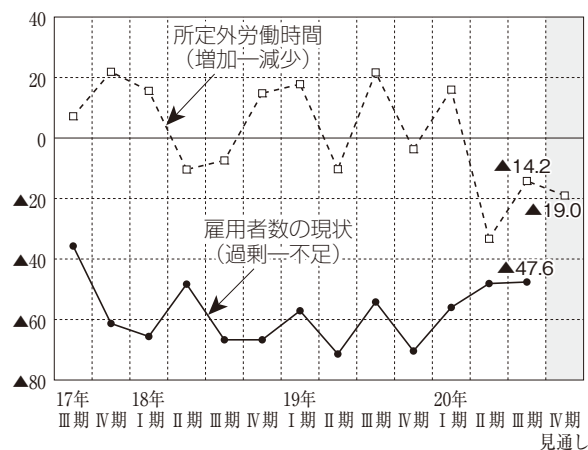
業況判断（BSI）



売上高と収益（BSI）



所定外労働時間と雇用者数の現状（BSI）



3期ぶりに改善

◎業況判断

【今期】(2020年7～9月期〈Ⅲ期〉)

業況判断BSI：▲37.5（前期比+45.8ポイント）

<内訳>

- ・よくなった 10.0%（前期比+10.0ポイント）
- ・悪くなった 47.5%（前期比▲35.8ポイント）
- ・変わらない 42.5%（前期比+25.8ポイント）

サービス業のうち観光関連の17社では、「よくなった」と回答した企業は前期比5.9ポイント増の5.9%、「悪くなった」と回答した企業は同47.1ポイント減の52.9%だった。観光関連以外（23社）では、「よくなった」と回答した企業が13.0%、「悪くなった」と回答した企業が43.5%だった。緊急事態宣言下にあった前期と比べると一部で改善が見られたが、7月以降再び新型コロナウイルス感染者が増加したことから宿泊業を中心に引き続き厳しい状況が続いている。

【来期】(2020年10～12月期〈Ⅳ期〉)

業況判断BSI：▲32.5（今期比+5.0ポイント）

<内訳>

- ・よくなる 12.5%（今期比+2.5ポイント）
- ・悪くなる 45.0%（今期比▲2.5ポイント）
- ・変わらない 42.5%（今期比±0.0ポイント）

◎売上高と収益

【今期】

売上高BSI：▲32.5（前期比+61.6ポイント）

収益BSI：▲32.5（前期比+56.1ポイント）

【来期】

売上高BSI：▲30.0（今期比+2.5ポイント）

収益BSI：▲27.5（今期比+5.0ポイント）

◎所定外労働時間と雇用者数の現状

【今期】

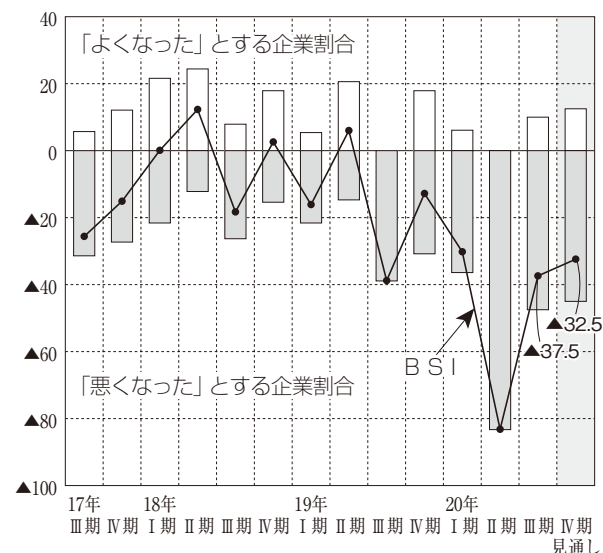
所定外労働時間BSI：▲30.0（前期比+27.6ポイント）

雇用者数の現状BSI：▲10.0（前期比▲1.4ポイント）

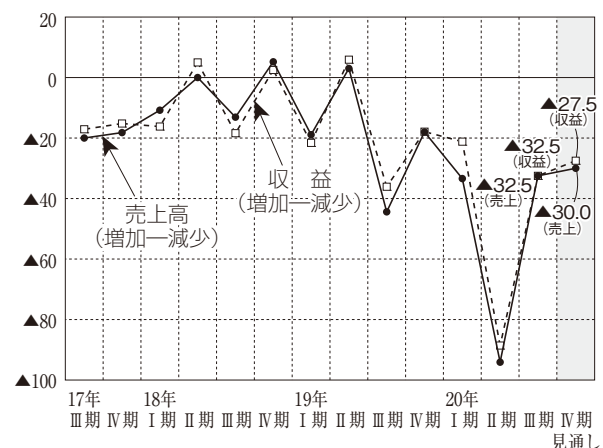
【来期】

所定外労働時間BSI：▲25.0（今期比+5.0ポイント）

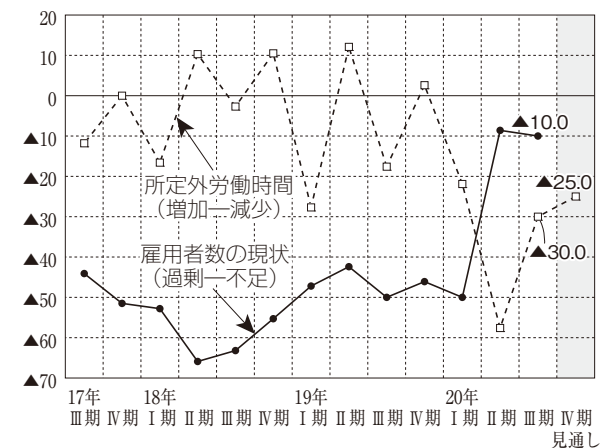
業況判断（BSI）



売上高と収益（BSI）



所定外労働時間と雇用者数の現状（BSI）



BSIとは

BSIとは“Business Survey Index”の略

企業経営者の業況に関する判断や景気見通しを“よくなる・よくなった”、“変わらない”、“悪くなる・悪くなった”という3つの形式で回答を求め、これを数値であらわしたものである。

BSIは次の数式で求められる。

①〔よくなる〕+〔変わらない〕+〔悪くなる〕=100%とする

②〔変わらない〕の回答分を除く

③ $BSI = [よくなる] - [悪くなる]$

BSIが前期を上回れば景気は改善、前期を下回れば悪化という見方をする。

調査の概要

当調査は、大銀経済経営研究所、大分信用金庫、大分県産業創造機構の三者合同によるアンケート調査である。

◎調査時点 2020年8月20日

◎調査の内容

- ・ 自社の景況の実績と見通し
- ・ 売上高と収益の実績と見通し
- ・ 設備投資実施割合
- ・ 経営上の問題点など

◎調査対象

- ・ 県内に本社または出先事業所を有する企業433社

◎回答企業数 206社

・ 回答率 47.6%

・ 規模別割合

資本金1千万円未満・個人	10.7%
資本金1千万円～1億円未満	66.0%
資本金1億円以上	15.5%
無回答	7.8%